

Rohos Logon Key 企業内へのインストール

Rohos Logon Key をネットワークワークステーションにインストールするには、MSI パッケージ、通常の EXE セットアップ パッケージをコマンドライン、またはコンパクト インストール パッケージ(スタートメニューショートカットや UI を使わない)を利用することができます。

Rohos Logon Key セットアップ コマンドライン オプション:

```
rohos_welcome.exe /VERYSILENT /usbkeyremoval=2 /regkey=XXXXXXXXXXXXX  
/usbdev=rohos_pkcs.dll /onlyusbkeylogin=3 /disableui=1
```

regkey - ライセンスキー

usbkeyremoval = 2 - 認証キーが取り外されたらログオフ

usbdev - 認証キーの種類

onlyusbkeylogin =3 - 2 ファクター認証ポリシーオプションを選択(USB_KEY_LOGIN_ONLY)

disableui - Rohos メイン ウィンドウの無効化

XXXXXXXXXXXXX - ライセンスキー文字列

Rohos Logon Key MSI:

- インストール中にプログラムのセットアップが行えます。MSI パッケージのパブリックオプション(see Chapter 4.9)は、msiexec コマンドライン、または MST ファイルで変更することができます。
- It sets up restricted access rights to registry settings installed by Rohos Logon Key により設定されたレジストリ設定のアクセス制限を設定できます。これらによりユーザーが Windows レジストリエディターや Rohos Center を使ってプログラム変更ができなくなります。
- スタートメニューにプログラムショートカットを作成しません。

MSI パッケージ オプション

コマンドラインから変更可能なオプション(msiexec.exe 内):

- LOGON_CAPTION="Welcome to the company"
(デフォルト t = "Welcome to windows")
ウェルカム画面オプションテキスト(大きな文字)
- LOGON_TEXT=" "
(デフォルト = "")
ウェルカム画面テキスト (時計下の小さな文字)
- DISABLE_LOG=1
(デフォルト =0)
Rohos Logon Key プログラムのログファイルの生成をオフ
- USB_KEY_LOGIN_ONLY=1
(デフォルト =0). 2ファクター認証オプションの選択:
 - 1- すべてのユーザーが USB キーのみを使用
 - 2- リストされたユーザー
 - 3- アクティブ ディレクトリの 'rohos' ユーザーグループ
 - 4- リモートデスクトップログイン
 - 5- IP フィルター付きリモートデスクトップログイン
- USB_REMOVAL=1
(デフォルト =0)
 - 1- USB の取り出しでコンピュータをロック
 - 2- ログオフ
 - 3 - コンピュータのシャットダウン
 - 4 - 休止
 - 5 - スクリーンセーバー
 - 6 - ユーザー切り替え
- 値が >50 の場合、キーなしモード - ユーザーが USB キーなしで作業できる時間(秒)
(キー無しモード機能を参照)

(このオプションは、同じ Rohos 設定を上書きします)

- DISABLE_CENTER=1

(デフォルト =0)

Rohos メインウィンドウの表示を無効にします。注意: ユーザーによりプログラム設定を変更することができなくなります。プログラムのレジストリ(HKLM¥Software¥Rohos)、ユーザー読み込みのみ許可されます。

- REG_NUMBER=""

(デフォルト =0)

Rohos Logon Key 登録番号 (ライセンス)

- USB_KEY_DLL=""

デフォルト = USB フラッシュドライブ

認証キーとして使用する USB キーまたはテクノロジーの種類を定義します。

利用可能な値:

empty - USB フラッシュドライブ

rohos_mifare.dll - MiFare 1K RFID

rohos_ed-fs-2044.dll - RFID readers. Easyident/Addimat

rohos_jcardv2.dll - JCard V2M

rohos_otp.dll - Google Authenticator または OTP トークン, YubiKey

rohos_phone.dll - Mobile phone (Android/iOs)

rohos_ybk.dll - Yubikey ID または OTP 認証

rohos_pkcs - インストールされた #PKCS11 互換トークン

サポートされる PKCS#11 トークン s:

etpkcs11.dll - Alladdin eToken PRO

aseCardCryptoCSP.dll - Athena USB Cryptocard

HiCOSPCKS11.dll - FUTAKO HiToken v22

rtpkcs11.dll - Aktiv ruToken

utpkcs11.dll - uaToken

k1pk112.dll - iKey 20xx

aetpkss1.dll - iKey 30xx

sadaptor.dll – Crypto Identity 5
 ep1pk111.dll – ePass 1000
 ep2pk11.dll – ePass 2000
 ngp11v211.dll – ePass 2000 FT12
 eps2003csp11.dll – ePass 2003
 pkcs_marx.dll – CrypToken

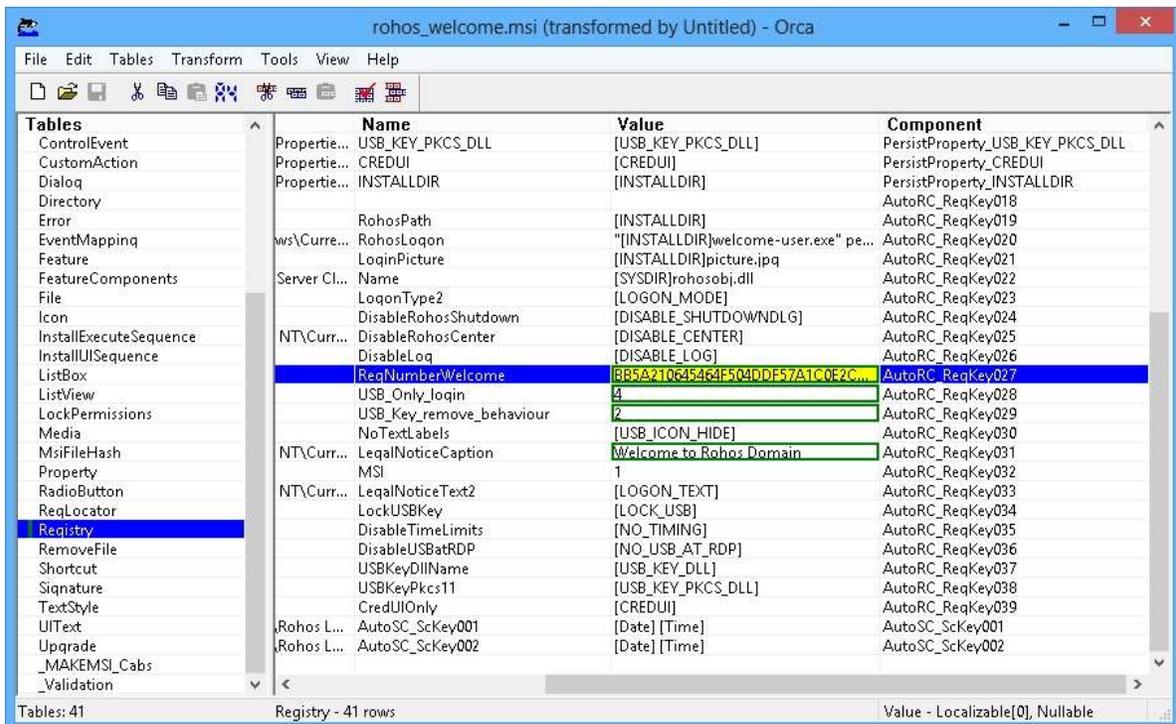
コマンドライン例 (サイレントインストール):

msiexec.exe /qr /i c:¥rohos_welcome.msi LOGON_CAPTION="Welcome to the company" USB_KEY_LOGIN_ONLY=3 USB_REMOVAL=1

アンインストール:

msiexec.exe /qr /uninstall c:¥rohos_welcome.msi

Orca データベーステーブルエディタ アプリケーションを使って MSI ファイルをを変更し、MST 転送ファイルを生成することができます。



MSI ファイルを **cmd** プロンプトで実行する場合、管理者権限で実行してください。MST ファイルを使った例:

msiexec.exe /i rohos_welcome.msi /qn TRANSFORMS=rohos.mst



```
Administrator: Microsoft Windows 7 x64 Debug Build Environment
The x64 compilers are not currently installed.
Please go to Add/Remove Programs to update your installation.
Setting SDK environment relative to C:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows\v7.1
Targeting Windows 7 x64 Debug

C:\Windows\system32>cd\
C:\>msiexec /i rohos_welcome.msi /qn TRANSFORMS=myMST.mst_
```

または、MSI を MST と共にグループポリシーでインストールできます。